

事務事業名	廃食用油回収事業		所属部局	市民部	単位番号	2102	
	□ 実施計画事業		所属課室	環境課	課長名	小笠原良仁	
基本政策	基本計画体系	IV	快速で心のかよいあう都市づくり	所属担当	環境保全・自然エネルギー担当	担当者名	河野慎介
		20	快速生活環境の整備	予算科目	会計 名称 款 項 目 細目 細々目	01 一般 04 01 05 090 08	
政策		33	生活環境の保全	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 19 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	南アルプス市地域新エネルギービジョン 南アルプス市バイオマスタウン構想			
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 廃食用油の回収事業については、バイオマスタウン構想の重点プランとして掲げており、全市で行っている。回収した廃食用油は、BDFに精製。環境課が委託する市内のごみ収集車への利用を試行的に実施している。 回収は、NPO団体が毎月第1日曜日に実施していたが、H25年度より、実施が不可能であるとの申し出により、シルバー人材センターに市内高齢者の社会進出や雇用促進を目的に委託している。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)			
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
			旅費				
			消耗品費	16			
			その他委託料	83			
					計	99	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 BDFの利活用については、ごみ収集車両の不具合により、利用を中止している。このため、他の活用策を検討していく必要がある。 27年度活動予定 リサイクル推進事業に統合し、引き続き廃食用油を回収する。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない								
			<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア回収の回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ啓発活動回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア回収の回数	回	イ啓発活動回数	回	ウ	
名称	単位										
ア回収の回数	回										
イ啓発活動回数	回										
ウ											
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない								
			<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア人口	人	イ		ウ	
名称	単位										
ア人口	人										
イ											
ウ											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	ごみの減量や水質汚染の防止 燃料として資源の有効活用することで、化石燃料の使用削減となりCO2排出量の削減になる	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない								
			<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア回収された廃食用油の量</td><td>リットル</td></tr> <tr><td>イ廃食用油を出す人</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア回収された廃食用油の量	リットル	イ廃食用油を出す人	人	ウ	
名称	単位										
ア回収された廃食用油の量	リットル										
イ廃食用油を出す人	人										
ウ											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市内のCO2削減(温室効果ガス)効果が図られ、市民が安心して生活できる環境保全に寄与する	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない								
			<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア可燃ごみの量</td><td>Kg</td></tr> <tr><td>イBDFの購入量</td><td>トン</td></tr> </table>	名称	単位	ア可燃ごみの量	Kg	イBDFの購入量	トン		
名称	単位										
ア可燃ごみの量	Kg										
イBDFの購入量	トン										

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		28	29				
		一般財源	千円	271	57	70				
		事業費計(A)	千円	271	85	99	0	0	0	0
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	2	1	1				
		延べ業務時間	時間	160	160	160				
		人件費計(B)	千円	728	728	728	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	999	813	827	0	0	0	0
活動指標	ア	回		86.0	86.0	86.0				
	イ	回		86.0	86.0	86.0				
対象指標	ア	人		73,684.0	73,211.0	72,963.0				
	イ	人								
成果指標	ア	リットル		1,598.0	2,826.0	2,286.9				
	イ	人		257.0	126.0	436.0				
上位成果指標	ア	Kg		12,990,990.0	12,734,170.0	13,166,050.0				
	イ	リットル		5,510.0	0.0	0.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成17年度策定地域新エネルギービジョンの導入プロジェクトの一つであり、平成19年度より白根地区をモデル地区として試行。平成21年度みんなでまちづくり協働事業に認められ、平成22年度より市全域を対象に回収を実施。H24
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	資源の循環利用として徐々に浸透してきた事業であるが、家庭から出る廃食用油は限られているため、市全域で取り組む手段の検討が必要。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	回収の有無や日程についての問合せがある。ごみカレンダーに掲載しているが、まだまだ周知が足りない。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	回収された廃食用油は、精製後に、BDFとしてディーゼル車両の燃料に再利用できるため平成24年度までは、コミュニティバス運行事業や環境パトロール車に利用してきたが、コミュニティバス事業の廃止、環境パトロール車の廃車等により、利活用方法について検討していかなければならない。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	環境課が管理する資源回収センターが開所したことにより、回収量は増加している。BDFを利用する取り組みについては、市内のごみ収集集車2台に利用をお願いしたが、車両の不具合により9月からの使用を中止してい

事務事業名	廃食用油回収事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 新エネルギー導入プロジェクトの一つで、バイオマスタウン構想の重点プランに掲げられており、政策体系に合致している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 H24年度からは、ボランティア団体が、H25年度からはNPO団体が、回収事業から退いた。回収事業の継続は、市が主体となって実施するしか方法がない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 回収は、南、北に資源回収センターが開所したことにより、センターでの回収量が増加している。今後の回収量の状況によっては、市内全域で実施している窓口サービスセンターでの回収について見直す必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 現時点では、回収した廃食用油を利活用する循環型の仕組み事業が中止している。BDFはディーゼル車両の燃料しか利用方法しかないため、利用方法を検討していく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 環境課が管理する資源回収センターにおいて廃食用油の回収を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 環境課が管理する資源回収センターにおいて廃食用油の回収を実施しているため、市内窓口サービスセンターでの委託については統合も可能 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 H22年度に策定した南アルプス市バイオマスタウン構想では廃食用油の回収を重点プランとしており、休廃止は目標達成へ影響を及ぼす。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 H22年度に策定した南アルプス市バイオマスタウン構想では廃食用油の回収を重点プランとしており、休廃止は目標達成へ影響を及ぼす。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 窓口センターでの委託を廃止し、資源回収センターにおける回収のみとすれば、事業費は削減できる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 成果をあげるために、啓発活動や回収を職員が行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全市民(世帯)を対象にした事業であり、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	廃食用油を回収し、BDFを燃料とする循環型の仕組みは、現時点では、ディーゼル車以外には利用できない。使用する車両は、陸運事務所への手続きも必要である。県内では、BDFを回収、販売する業者が廃業となり、回収した廃食用油からBDFを精製する資源の再利用の取り組みが中断されている。H25年度は、市内のごみ回収を委託するエコ協業組合の協力により2台の試行を試みたが、車両の不具合により中止している。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					